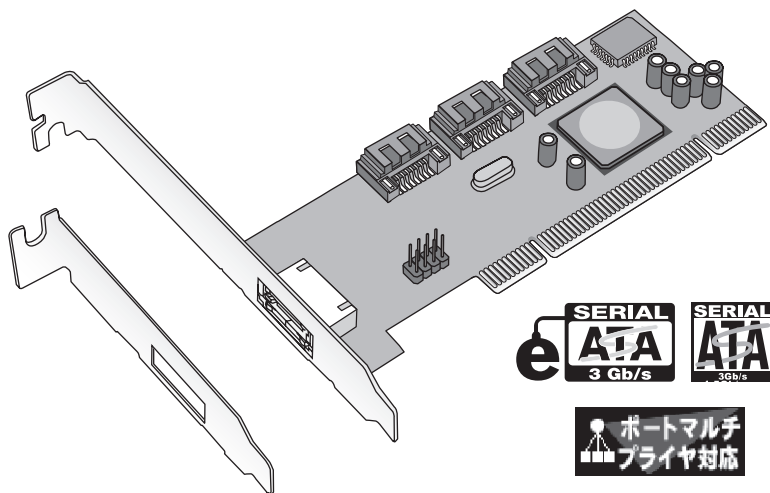


eSATA PCI Board

# REX-PCI15PM

## ユーザーズマニュアル

2008年10月 第4.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため  
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

**RS** RATO Systems, Inc.

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple, Mac OS, Power Macは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、® マークは明記しておりません。

# 目次

●	安全にご使用いただくために	2
<b>1</b>	はじめに	3
	-1. 動作環境	3
	-2. 内容物の確認	4
	-3. 各部の名称	4
	-4. 使用上の注意	5
<b>2</b>	Windowsで使用する場合	6
	-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	6
	-2. Low Profile PCIで使用する場合	6
	-3. PCIボードの取り付け	7
	-4. ドライバのインストールと確認	8
	-5. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール	13
	-6. ホットプラグツールの使い方	14
	-7. ホットプラグツールの削除	19
<b>3</b>	Mac OSで使用する場合	20
	-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	20
	-2. ドライバのインストール	20
	-3. PCIボードの取り付け	22
	-4. セットアップの確認	23
	-5. ホットプラグの使い方	24
<b>4</b>	お問い合わせ	25
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	25
	-2. プロダクトキーについて	25
	-3. 修理について	26
<b>5</b>	オプション品のご案内	27
<b>6</b>	一般仕様	28
●	REX-PCI15PM 質問用紙	

## 安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

### 表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

この度はREX-PCI15PMをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

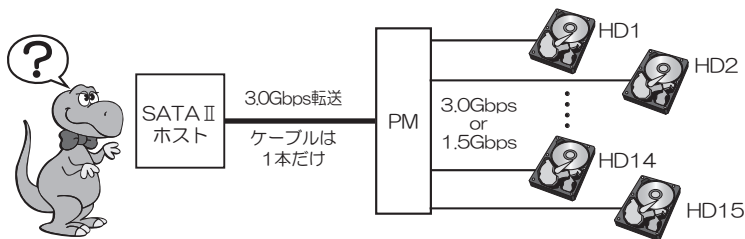
本書はREX-PCI15PMの導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

## 1-1. 動作環境

- ◆ 対応OS : Windows Vista/XP/2000、Windows Server 2003  
※Windows Vista/XP/Server 2003は64ビット版にも対応  
Mac OS X 10.4.x 以降
- ◆ 対応機種 : PCIスロット(PCI Rev.2.1以降)またはPCI-Xスロットを装備した以下の機種  
・Windows PC  
・Power Mac G4/G5シリーズ  
※PCI Expressスロットには装着できません。Power Mac G5(PCI Expressモデル)には対応していません。
- ◆ 対応デバイス : eSATA/SATAに準拠したデバイスに対応  
・“ポートマルチプライヤ対応”外付けリムーバブルケース (SA-DK5ES、SA-DK2EU-Rシリーズなど)  
・外付けリムーバブルケース(SA-DK1シリーズ、SA-IFKESなど)  
・内蔵リムーバブルケース(SA-RC1シリーズなど)  
・内蔵ハードディスク

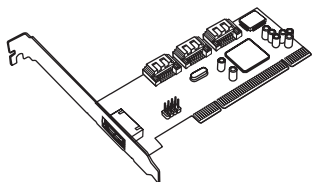
### ポートマルチプライヤ(PM)とは？

SATA II 規格からの新機能で、1つのホスト(ポート)に、複数のデバイスを接続できる(複数のポートに分ける事のできる)機器、または機能の事を指します。単純に言えば、一種のハブのような機能です。規格では、1つのPMに最大15台までのデバイスが接続可能です。



## 1 -2. 内容物の確認

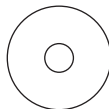
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。  
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



● eSATA PCI ボード



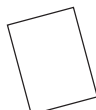
● Low Profile用ブラケット



● ソフトウェア  
CD-ROM



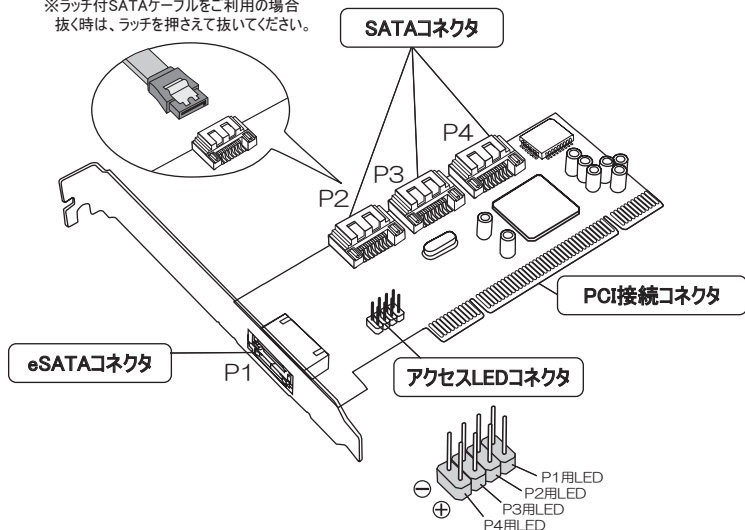
● ユーザーズマニュアル  
(本書)



● 保証書

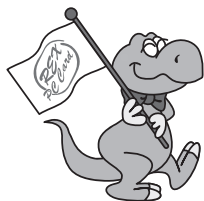
## 1 -3. 各部の名称

※ラッチ付SATAケーブルをご利用の場合  
抜く時は、ラッチを押さえて抜いてください。



## 1 -4. 使用上の注意

- システム起動(ブート)には対応していません。  
接続したハードディスクやDVDドライブからのシステム起動はできません。
- Mac OSの場合、スリープからの復帰後、約10秒間は本製品に接続したハードディスクへのアクセスができません。
- スタンバイ、休止後に、SATAハードディスクを接続しても、認識しない場合があります。
- eSATAコネクタとSATAコネクタは、形状が異なります。ご使用のデバイスやケーブルのコネクタ形状を確認の上、接続してください。
- SATAケーブル(内部接続用)は、100cm以下のものを使用してください。  
eSATAケーブル(外部接続用)は、200cm以下のものを使用してください。ただし、ご使用のeSATAデバイスによっては100cm以下となります。
- アクセスLEDコネクタにアクセスLEDケーブルを接続した場合、隣接するボードに接触する場合があります。
- 以下の製品をご使用の場合、ハードディスクを1.5Gモードに設定する必要があります。  
・SA-DK1EU(シリアル番号:DK1EU0010001より前)  
・RS-EC5EU(シリアル番号:RSEU00100001より前)
- eSATA/SATAデバイスへの電源供給はできません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

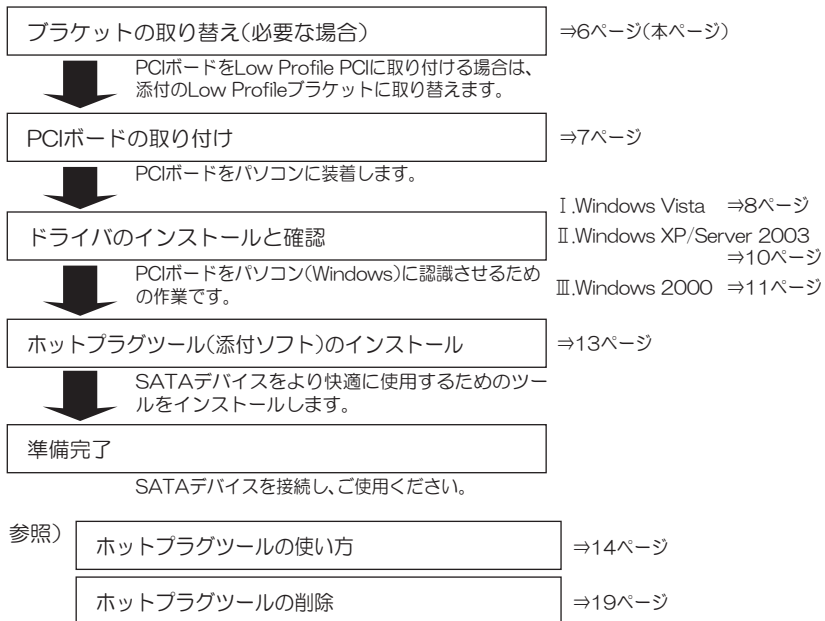


- 2 Windowsで使用する場合 ⇒6ページへ 進んでください。
- 3 Mac OSで使用する場合 ⇒20ページへ

# 2

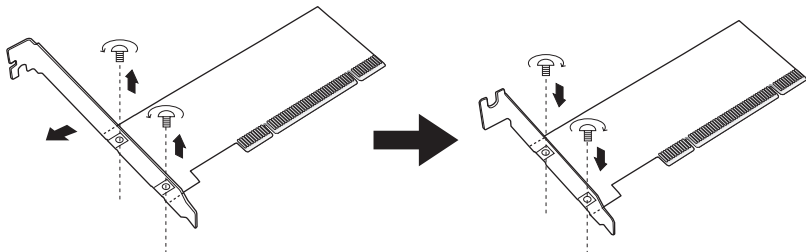
## Windowsで使用する場合

### 2-1. 本製品が使えるようになるまでの手順



### 2-2. Low Profile PCIで使用する場合

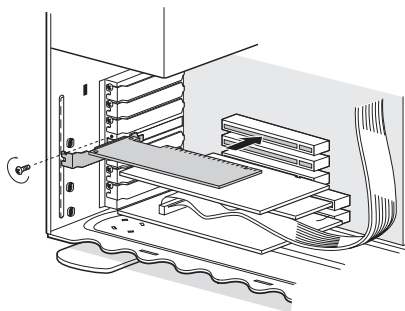
Low Profile(ロー・プロファイル) PCIスロット搭載パソコンで使用する場合は、下図を参考にし、添付のブラケットに付け替えてください。





## 2 -3. PCIボードの取り付け

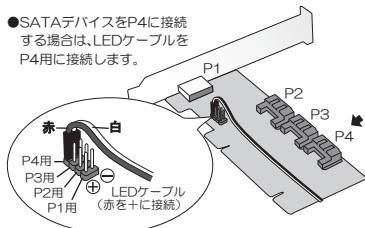
1. パソコンの電源を切ります。
2. PCIスロットに、PCIボードを取り付けます。



### 👉 アクセスLEDケーブルを接続する場合

SATAデバイスのアクセスLEDケーブルを接続する場合は、本製品をPCIスロットに取り付ける前に行います。

- SATAデバイスをP4に接続する場合は、LEDケーブルをP4用に接続します。



※本製品にアクセスLEDケーブルは添付していません。  
※アクセスLEDコネクタにアクセスLEDケーブルを接続した場合、隣接するボードに接触する場合があります。

### ⚠️ 注意

- スロットに対し、ボードが傾いた状態で利用すると、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットに完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。

8ページ **2**-4. ドライバのインストールとセットアップの確認へ進んでください。

## 2-4. ドライバのインストールとセットアップの確認

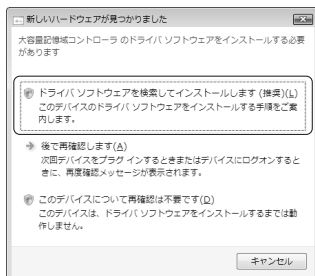
OS別にドライバのインストールとセットアップの確認手順を説明します。

- I. 【Windows Vistaの場合】: ⇒8ページ(本ページ)
- II. 【Windows XP/Server 2003の場合】: ⇒10ページ
- III. 【Windows 2000の場合】: ⇒11ページ

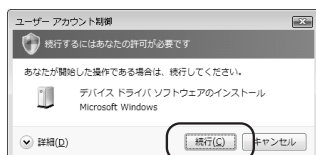
### I. 【Windows Vistaの場合】

#### I-1. ドライバのインストール

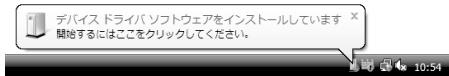
1. PCIボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます。  
“ドライバソフトウェアを検索してインストールします”をクリックしてください。



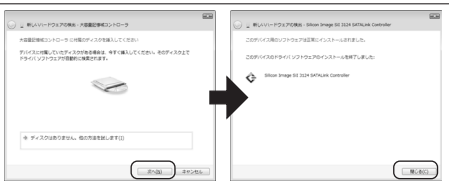
2. 次のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。



3. “インストールしています”の表示がタスクバーに表示されます。



インターネットに接続していない場合は、“ディスクを挿入してください”のメッセージが表示されます。製品添付のCD-ROMを挿入しドライバをインストールしてください。



4. 次の表示でインストール完了です。



## I-2. セットアップの確認

5. 本製品とドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。  
※以下、「デバイスマネージャ」の開き方(一例)を説明します。  
【スタート】→【コンピュータ】を開いてください。

6. コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



7. タスクから【デバイスマネージャ】をクリックしてください。



8. 次のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。

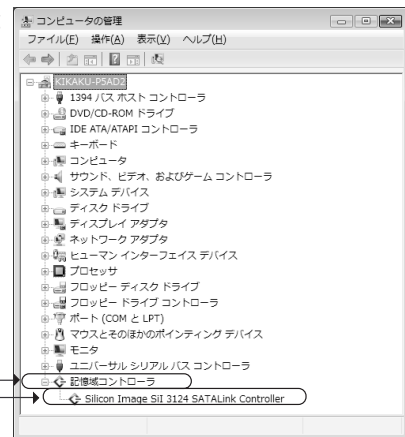


9. 【デバイスマネージャ】の画面から、【記憶域コントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が登録されている事を確認してください。



登録されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。7ページ 2-3に戻り、PCIボードを確実に取り付け、再度インストールを行ってください。

- ①【記憶域コントローラ】をダブルクリック。  
②【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



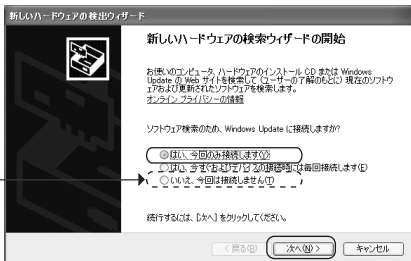
10. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。  
13ページ 2-5. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

## II. 【Windows XP/Server 2003の場合】

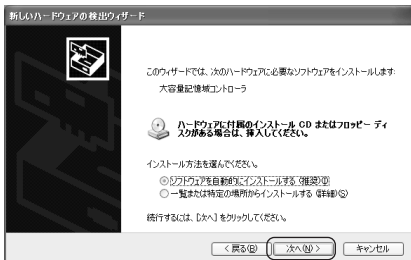
1. PCIボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが新しいハードウェアとして認識されウィザードが開始されます。

“はい、今回のみ接続します”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

※インターネットに接続していない場合は、製品添付のCD-ROMからも、ドライバをインストールすることができます。



2. “ソフトウェアを自動的にインストールする”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



3. この画面になりましたら、ドライバのインストールは完了です。【完了】をクリックしてください。



12ページ IV.【セットアップの確認】へ進む

### III. 【Windows 2000の場合】

1. PCIボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが新しいハードウェアとして認識されウィザードが開始されます。

製品に添付されているCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入して【次へ】をクリックしてください。

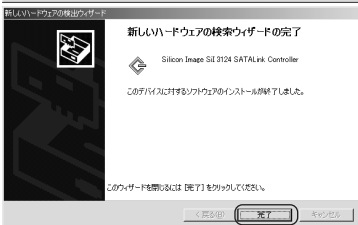
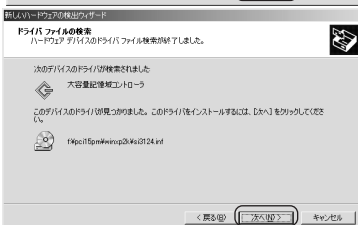
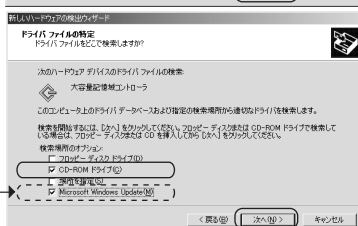
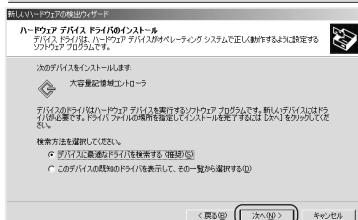
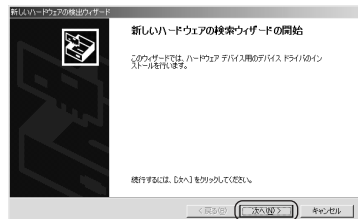
2. “デバイスに最適なドライバを検索する”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

3. “CD-ROMドライブ”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

※インターネットに接続されている場合は、Microsoft Windows Updateからも、ドライバをインストールすることができます。

4. 【次へ】をクリックしてください。

5. この画面になりましたら、ドライバのインストールは完了です。  
【完了】をクリックしてください。



## IV. 【セットアップの確認】

1. PCIボードとドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。  
下記の手順で“システムのプロパティ”を開いてください。

Windows XP/Server 2003の場合

※Vistaの場合 ⇒9ページ

【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

Windows 2000の場合

【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

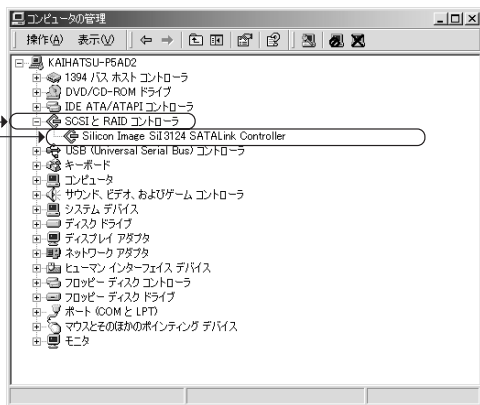
2. 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が登録されていることを確認してください。

- ①【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリック。

- ②【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



登録されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。7ページ 2-3に戻り、PCIボードを確実に取り付け、再度インストールをおこなってください。



4. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。  
13ページ 2-5、ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

## 2 -5. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール

### ホットプラグツールについて

このツールは、パソコンの電源を落とさずにハードディスクなどのeSATA/SATAデバイスの取り外し/交換を可能にするソフトウェアです。パソコン起動時にデバイスの取り外し、入れ換えをおこなう場合は、必ず本ソフトウェアをインストールしてください。

1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。

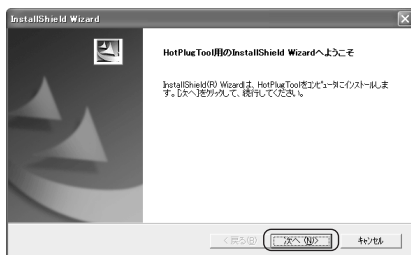
3. 【CDドライブ】を開き、【HotPlugTool】フォルダ内の【SetupHotPlugTool.exe】をダブルクリックしてください。



SetupHotPlugTool.exe

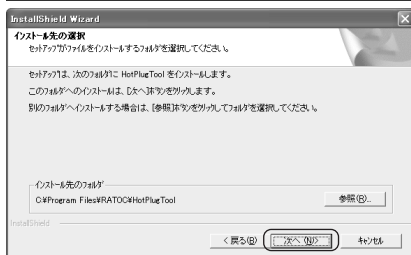
※拡張子(.exe)は、環境により表示されない場合があります。

4. 右記インストール画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。



5. インストール場所を確認する画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。

※ 別フォルダを指定する場合は、【参照】をクリックしてインストールするフォルダを指定してください。



6. インストール完了です。【完了】をクリックしてください。

※ “HotPlugToolをすぐの実行します。”にチェックを入れると、ホットプラグツールはタスクトレイに常駐します。(取り外し可能なSATAデバイスが接続されていない場合は、アイコンは表示されません。)



## 2 -6. ホットプラグツールの使い方

ホットプラグツール(製品添付ソフト)は、パソコンの電源を落とさずに、対応製品のポートに接続したハードディスクなどのeSATA/SATAデバイスを、取り外し/交換(ホットプラグ機能)を可能にするソフトウェアです。

### I. 【ホットプラグツールを使用する方法】:

ハードディスクの接続を例に説明します。

### II. 【ホットプラグツールの設定画面について】:

ホットプラグツールの起動設定や機能のカスタマイズについて説明します。

### III. 【ホットプラグツールの終了について】:

#### ⚠ 警告

- 取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本章の作業手順に従ってください。下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または、記録データが損失する場合があります。
- 本製品に接続したSATAハードディスクからシステム起動している場合、ホットプラグはできません。

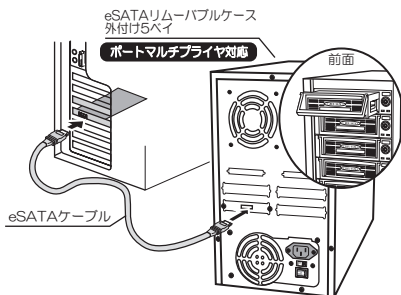
## I. 【ホットプラグツールを使用する方法】

ハードディスクの接続を例に説明します。

### 1. 外付け/内蔵ハードディスクを接続します。

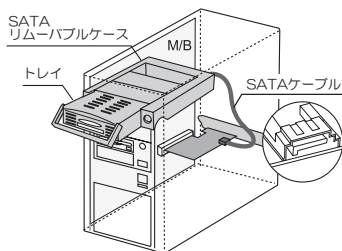
#### ● 外付けハードディスクの場合

eSATA接続



#### ● 内蔵ハードディスクの場合

SATA接続



※ケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。  
27ページ **5** オプション品のご案内を参照ください。



## 2. パソコンを起動し、SATAハードディスクを認識すると、デスクトップ右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

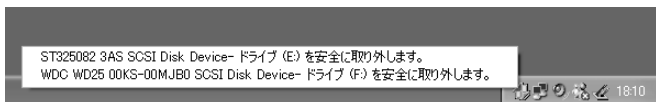
ハードディスクの取り外し/交換をおこなう場合、まずアイコン上でクリックしてください。



### 👉 ご注意

- 【ホットプラグツール】は常駐ソフトです。
- ホットプラグツールの初期設定では、機器を接続していない場合、および取り外し可能なデバイスが接続されていない場合(ダイナミックディスクなど)、アイコンは表示されません。
- ホットプラグツールのインストールをおこなっていない場合、アイコンは表示されません。

## 3. アイコンをクリックすると、接続しているドライブ情報が表示されます。

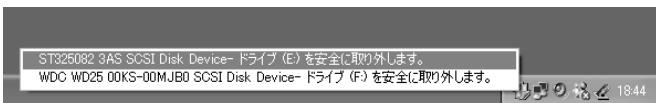


### 👉 ドライブ情報について

- 全てのWindowsでは、SATAデバイスを接続した時、“SCSI Disk Device”と表示されます。表示されるデバイスの名称は接続するデバイスにより異なります。
- ポータルマルチプライヤデバイス(SA-DK5ESなど)を接続した場合は、何段目に装着したトレイかの情報を加えて表示します。

```
[ HOST5 PORT1 ] PORT MULTIPLIER UNIT
[ TRAY1 ] ST340083 2AS SCSI Disk Device- ドライブ (J) を安全に取り外します。
[ TRAY2 ] WDC WD25 00KS-00MJB0 SCSI Disk Device- ドライブ (G) を安全に取り外します。
[ TRAY3 ] WDC WD25 00JS-60MHBI SCSI Disk Device- ドライブ (K) を安全に取り外します。
```

## 4. 取り外すドライブを選択し、クリックしてください。

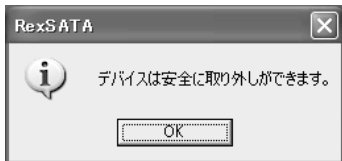


### 👉 “PORT MULTIPLIER UNIT”を選んだ場合(一括取り外し)

ポータルマルチプライヤ接続のドライブを一括で取り外します。

例) 選択 — [ HOST5 PORT1 ] PORT MULTIPLIER UNIT  
TRAY:1,2,3が — [ TRAY1 ] ST340083 2AS SCSI Disk Device- ドライブ (J) を安全に取り外します。  
取り外される。 — [ TRAY2 ] WDC WD25 00KS-00MJB0 SCSI Disk Device- ドライブ (G) を安全に取り外します。  
                  — [ TRAY3 ] WDC WD25 00JS-60MHBI SCSI Disk Device- ドライブ (K) を安全に取り外します。

5. “デバイス safely 取り外しできます。”のメッセージが表示されたら取り外し可能です。【OK】をクリックしてください。



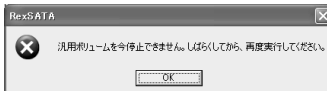
#### Vistaでのご注意

- メッセージ表示時、必ずトレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。手順が異なるためドライブが再接続されます。
- PORT MULTIPLIER UNITを選択した場合、取り外す TRAY Noを1つずつ表示します。必ずその都度、トレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。



#### 警告: 汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合

このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 2. の手順からおこなってください。



ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視を行うソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。

無理に取り外しを行うと、ハードディスクの破損、記録データの損失などが発生する場合があります。

6. ドライブを取り外します。

#### 外付けハードディスクの取り外し

外付けハードディスクの電源を切るか、eSATAケーブルを抜いてください。



外付けハードディスクの交換後、eSATAケーブルを接続するか、外付けハードディスクの電源を入れると再びドライブが表示されます。

#### トレイの交換

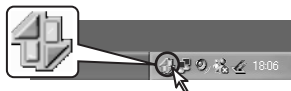
キースイッチのロックを解除して、トレイを取り外してください。



トレイ交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

## II.【ホットプラグツールの設定画面について】

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。  
ここでは、ディスクの取り外し／ホットプラグツールの起動に関する設定／機能のカスタマイズが可能です。



### ① ディスクの取り外し

現在接続しているSATAデバイスが表示されます。停止するデバイスを選択し【停止】をクリックすると、デバイスを取り外すことができます。

### ② システム起動時にホットプラグツールを起動する。

ホットプラグツールを常駐させない場合、このチェックBOXのチェックを外してください。次回起動時から、ホットプラグツールは自動的に起動(常駐)しません。

※1:常駐させていない時の起動方法は、【スタート】→【すべてのプログラム(Windows 2000はプログラム)】→【Hot Plug Tool】内の【Hot Plug Tool】をクリックしてください。



※2:常駐時に※1と同じ操作をしたときは“ハードウェアの安全な取り外し”ダイアログボックスが表示されます。

### ③ 再スキャン

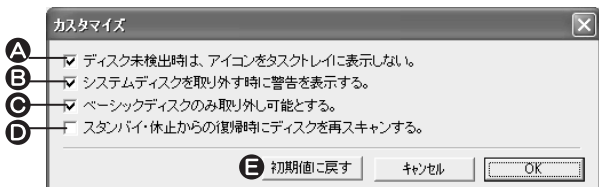
【再スキャン】をクリックするとデバイスの検索をします。ディスクが見つからない場合や、デバイス名がUnkown Deviceなどと表示される場合などに使用してください。

### ④ カスタマイズ

【カスタマイズ】をクリックするとダイアログボックスが表示されます。  
ここでホットプラグツールの機能をカスタマイズすることができます。

⇒次ページに説明つづく

## 前ページ(4 カスタマイズ)の説明つづき



- A** ディスク未検出時は、アイコンをタスクトレイに表示しない。  
※チェックを外すと、ホットプラグツール起動時は常にアイコンが表示されます。
- B** システムディスクを取り外す時に警告を表示する。(上級者向き)  
※チェックを外すと、システムがインストールされている可能性があるディスクを外す場合でも、警告を表示しません。
- C** ベーシックディスクのみ取り外し可能とする。(上級者向き)  
※チェックを外すと、ダイナミックディスクなども取り外し対象となります。  
※ダイナミックディスクのドライブ文字は表示されません。
- D** スタンバイ・休止からの復帰時にディスクを再スキャンする。  
※復帰時にディスクが見つからない場合にチェックしてください。  
※正常なパソコンではチェックをONにしないでください。再スキャン処理にかかる余計なリソースを消費します。
- E** 「初期値に戻す」ボタン  
※クリックするとチェックON/OFFを初期値に戻します。

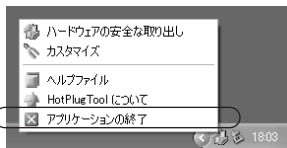


### 注意

【B.C.について】システムディスク/ダイナミックディスクの取り外しはシステムエラーの発生リスクを伴います。ご注意ください。

## Ⅲ.【ホットプラグツールの終了について】

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されますので、“アプリケーションの終了”を選択してください。



### アイコン表示がないときは

ディスク未検出でアイコン表示がないときに、“アプリケーションの終了”をおこないたい場合は、まず、スタートメニューからHot Plug Toolを選択し、カスタマイズ(上記A参照)により、アイコンを表示させてください。

## 2-7. ホットプラグツールの削除

### Windows Vistaの場合

※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムのアンインストール】（クラシック表示では【プログラムと機能】）を選択してください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【アンインストール】をクリックしてください。



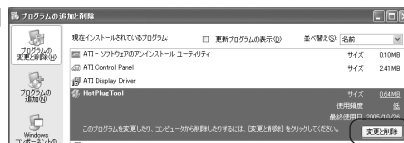
3. 確認画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



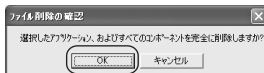
### Windows XP/2000/Server 2003の場合

※例はWindows XPの画面です。その他OSでは画面が若干異なります。  
※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】（Windows 2000は【アプリケーションの追加と削除】）を開いてください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【変更と削除】をクリックしてください。

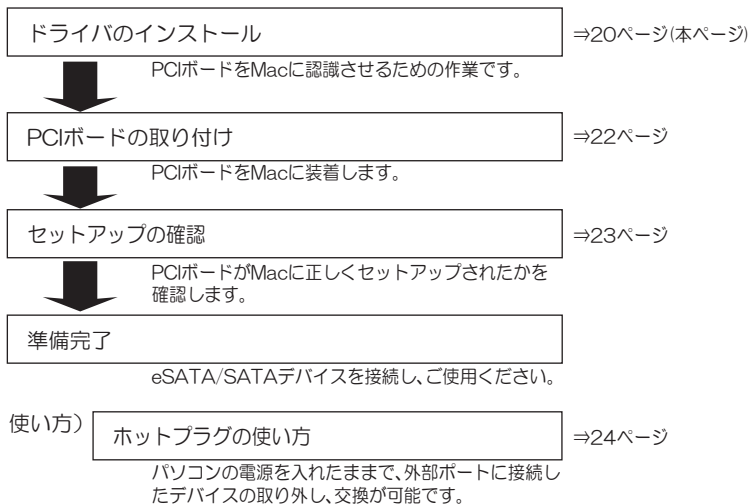


3. 確認画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。




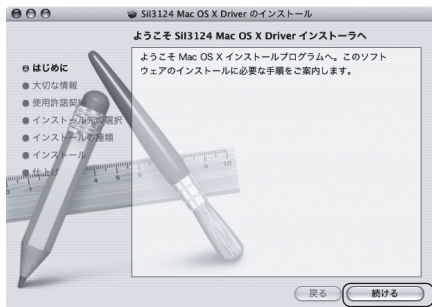
# 3 Mac OSで使用する場合

## 3-1. 本製品が使えるようになるまでの手順



## 3-2. ドライバのインストール

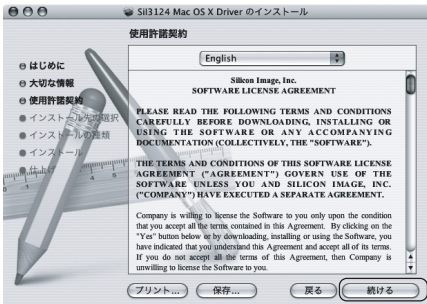
1. 製品添付のCD-ROMをMacのCDドライブに挿入し、CD-ROM中の【PCI15PM Installer】フォルダを開いて、【Sil3124\_2.0.3\_Sil\_Pkg】をダブルクリックしてください。  Sil3124\_2.0.3\_Sil\_Pkg
2. “ようこそ”画面が表示されます。【続ける】をクリックしてください。



3. “大切な情報”画面が表示されます。  
【続ける】をクリックしてください。



4. “使用許諾契約”画面が表示されます。  
【続ける】をクリックしてください。



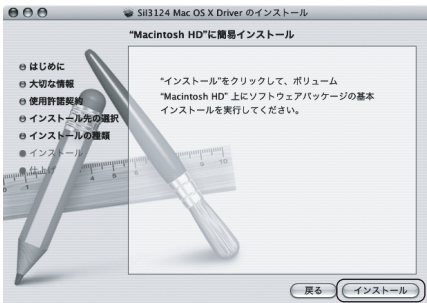
5. 次のメッセージが表示されます。  
【Agree】をクリックしてください。



6. “インストール先の選択”画面が表示されます。インストール先を選択し  
【続ける】をクリックしてください。



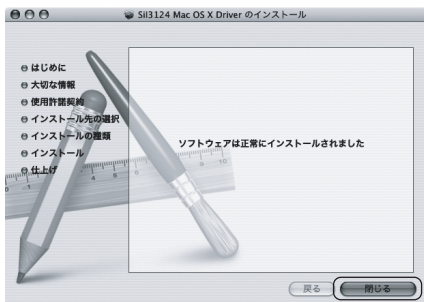
7. 【インストール】をクリックしてください。



8. パスワードを入力し、【OK】をクリックしてください。

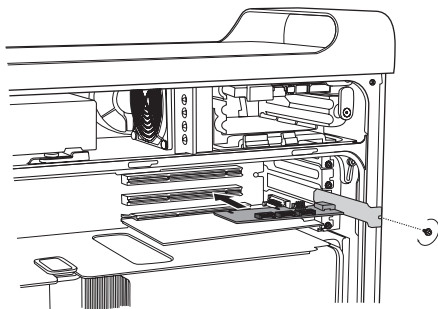


9. インストール完了です。  
【閉じる】をクリックしてください。



### 3 -3. PCIボードの取り付け

1. Macの電源を切ります。
2. PCIスロットに、PCIボードを取り付けます。



※例では、スロット番号「2」に取り付けています。

#### ⚠ 注意

- スロットに対し、ボードが傾いた状態で利用すると、本製品やMac本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットに完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。



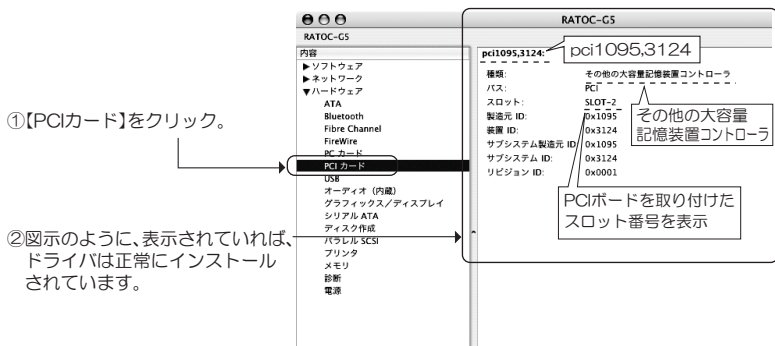
### 3-4. セットアップの確認

1. PCIボードを取り付け後、Macの電源を入れます。
2. PCIボードとドライバが正常にセットアップされたことを確認します。  
【移動】→【ユーティリティ】→【システムプロファイラ】をダブルクリックしてください。



システムプロファイラ

3. 【ハードウェア】カテゴリの【PCIカード】をクリックし、【pci1095,3124:その他の大容量記憶装置コントローラ】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。  
【Macintosh HD】→【システム】→【ライブラリ】→【Extensions】の中にある、  
【Siliconimage3124u.kext】ファイルがあるかを確認してください。  
このファイルがない場合は、一旦PCIボードを取り外した後20ページ 3-2.  
「ドライバのインストール」以降の手順で再度セットアップをおこなってください。  
(PCIボードの取り付けは確実におこなってください。)

4. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。  
eSATA/SATAデバイスを接続し、ご使用ください。

本製品はホットプラグ対応です。

使い方は、24ページ 3-5. ホットプラグの使い方を参照ください。

### 3 -5. ホットプラグの使い方

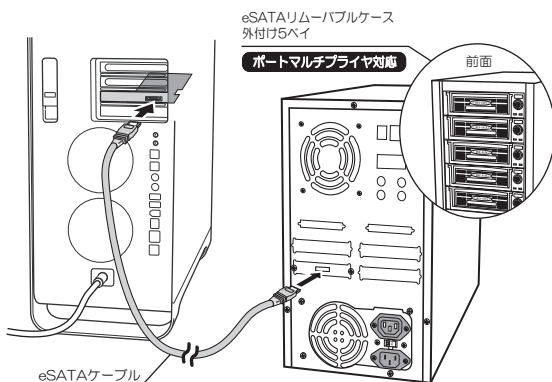
本製品は、Macの電源を落とさずに、外部ポートに接続したハードディスクなどのeSATAデバイスを取り外し/交換が可能です。

#### ⚠ 警告

取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本章の作業手順に従ってください。  
下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または、記録データを損失する場合があります。

ハードディスクの接続を例に説明します。

#### 1. 外付けハードディスクを接続します。(☒は外付けリムーバブルケース)



※ケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。  
27ページ **5** オプション品のご案内を参照ください。

2. Macを起動し、SATAハードディスクをマウントすると、デスクトップに右記アイコンが表示されます。



3. 取り外すドライブのアイコンを選択し、ゴミ箱へ捨ててください。



4. ハードディスクの取り外しが可能です。

# 4

## お問い合わせ

### 4-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、予めご了承くださいようお願い申し上げます。

#### ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410

FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00

土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。  
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

### 4-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザーであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証を行う場合は、プロダクトキーのみでユーザー認証をおこない、ユーザー登録のような個人情報の登録が無くともダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト( <http://p-key1.ratocsystems.com/> )をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。

※プロダクトキーは再発行されません。

## 4 -3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。また修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

- 〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL:06-6633-0190
- 〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本  
・製品  
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）
- 〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。  
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。  
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

# 5 オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

## ◆ ケーブル

型番	品名
RCL-SATA-06S	SATAケーブル 約60cm
RCL-SATA-06	SATAケーブル 約60cm/片側ライトアングル
RCL-SATA-10	SATAケーブル 約100cm
RCL-ESATA-10	eSATAケーブル 約100cm

その他、各種リムーバブルケースを取り揃えております

## Win/Mac REX-RAIDシリーズ リムーバブルRAIDケース(在庫限り)

型番	品名
SA-DK2EU-R	eSATA/USB2.0 リムーバブルRAIDケース (外付け2ベイ・アルミ)

※ハードディスク組み込みモデルもございます。



## Win/Mac REX-SATAシリーズ SATAリムーバブルケース(外付けタイプ)

型番	品名
SA-DK1ES	eSATAリムーバブルケース 外付け1ベイ
SA-DK1EU	eSATA&USB2.0リムーバブルケース 外付け1ベイ
SA-IFKESLG	eSATA接続キット ライトグレートレイセット
SA-DK5ES	eSATAリムーバブルケース 外付け5ベイ・アルミ



## Winのみ REX-SATAシリーズ SATAリムーバブルケース(内蔵タイプ)

型番	品名
SA-RC1A-LG	SATAリムーバブルケース (内蔵) アルミ・ライトグレー
SA-RC1-LG	SATAリムーバブルケース (内蔵) ライトグレー
SA-RCAIDE-LG	SATAリムーバブルケース (内蔵) アルミ・ライトグレー・IDE HD用トレイ付
SA-RCIDE-LG	SATAリムーバブルケース (内蔵) ライトグレー・IDE HD用トレイ付
SA-RC1A-LGX	SATAリムーバブルケース (内蔵) アルミ・ライトグレー・LED付
SA-RC1-LGX	SATAリムーバブルケース (内蔵) ライトグレー・LED付

※カラーはライトグレーのほか、ブラックなどがございます。



<sup>※1</sup>IDE HD用トレイは、HITACHI IDE HDDを使用できません。

型番	REX-PCI15PM
名称	eSATA PCIボード (ポートマルチプライヤ対応)
対応OS	Windows Vista/XP/2000/Server 2003 Mac OS X 10.4.x 以降 ※Windows Vista/XP/Server 2003は64ビット版にも対応
対応機種	PCIスロット (PCI Rev.2.1以降) またはPCI-Xスロットを装備した以下の機種 ・ Windows PC ・ PowerMac G5/G4シリーズ ※PCI Expressスロットには装着できません。Power Mac G5 (PCI Expressモデル) には対応していません。
バスインターフェイス	32ビットPCIバス (PCI Local Bus Specification Rev 2.3準拠)
SATAコントローラ	SiI3124
接続コネクタ	eSATAコネクタ(外部)×1 SATAコネクタ(内部)×3 アクセスLED用2.54mmピッチピンヘッダ端子×4
データ転送速度	3.0Gbps (SATA理論値)
電源電圧	DC +3.3V (PCIスロットより供給)
動作環境	温度：0～55℃、湿度：20～80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約49mm(W)×120mm(L) ブラケット部含まず (標準/Low Profile 両対応)
重量	約50g
製品内容	REX-PCI15PM PCIボード、Low Profileブラケット ソフトウェアCD-ROM、ユーザーズマニュアル、保証書 (1年間)
添付ソフトウェア	ドライバソフトウェア、ホットプラグツール (Windows用)
保証期間	1年間

- ※ システム起動 (ブート) には対応していません。  
接続したハードディスクやDVDドライブからのシステム起動はできません。
- ※ Mac OSの場合、スリープからの復帰後、約10秒間は本製品に接続したハードディスクへのアクセスができません。
- ※ スタンバイ、休止後に、SATAハードディスクを接続しても、認識しない場合があります。
- ※ eSATAコネクタとSATAコネクタは、形状が異なります。ご使用のデバイスやケーブルのコネクタ形状を確認の上、接続してください。
- ※ SATAケーブル (内部接続用) は、100cm以下のものを使用してください。  
eSATAケーブル (外部接続用) は、200cm以下のものを使用してください。ただし、ご使用のeSATAデバイスによっては100cm以下となります。
- ※ アクセスLEDコネクタにアクセスLEDケーブルを接続した場合、隣接するボードに接触する場合があります。
- ※ 以下の製品をご使用の場合、ハードディスクを1.5Gモードに設定する必要があります。
  - ・ SA-DK1EU (シリアル番号：DK1EU0010001より前)
  - ・ RS-EC5EU (シリアル番号：RSEU00100001より前)
- ※ eSATA/SATAデバイスへの電源供給はできません。

**ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛**
**FAX: 06-6633-3553**

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-PCI15PM	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	[Windows] <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> 2000 <input type="checkbox"/> Server 2003 ※該当の方はチェック ⇒ <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用している [Mac OS] <input type="checkbox"/> Mac OS X (Ver )			
接続機器	分類	<input type="checkbox"/> 内蔵ハードディスク <input type="checkbox"/> 外付けハードディスク <input type="checkbox"/> その他( )	型番	
	メーカー名			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows: デバイスマネージャのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> Mac: システムプロファイラの簡易レポート※2 <input type="checkbox"/> その他( )			

※1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- [スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows 2000: プログラム)]-[アクセサリ]-[システムツール]-[システム情報]を選択します。
- Windows Vista/XP/Server 2003: [ファイル]-[エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。  
Windows 2000: [操作]-[一覧のエクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

※2 システムプロファイラの簡易レポートの印刷方法

- Finderのメニューバーから[移動]-[ユーティリティ]-[システムプロファイラ]を開きます。
- [表示]-[簡易レポート]を選択します。[ファイル]-[プリント]を選択し、簡易レポートを印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。  
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



©RATOC Systems, Inc. All rights reserved.  
Printed in Japan